

[令和3年1月25日]



## (一社) 日本松保護士会ニュース<第7号>

事務局：増田 信之 Tel 0748-69-5861 matsuhogo@iaa.itkeeper.ne.jp

広報部：坂口修一、山口真之介、五十風光雄、土居常隆

### 【会長あいさつ】



一般社団法人日本松保護士会  
代表理事（会長） 岩瀬 森の助

今年こそは、会員の皆様、日本さらに世界の人々の明るい素晴らしい年になりますことを心より祈念致し、新春のご挨拶を申し上げます。

昨年来の新型コロナウイルス禍により、直近の感染者数は日本でも30万人を超え、世界では約1億人近くが感染そして死者は200万人を超えたといわれております。このコロナ対策では会員の皆様も大変ご苦労されていることと存じますが、小生の会社でも昨年は、県外の作業を自粛せざるを得ない状況になっております。是非、専門家のご教示に従い、病害を避けるため、知恵を出し合いながら、なんとか、この苦境を乗り越えていきたいものと考えております

当会の総会につきましては、昨年はこのコロナ禍により少人数での開催とならざるを得なかったわけでしたが、出来るならば本年は以前のような研修会や交流会も含んだ形で開催できるようにならんことを深く祈念し、努力したいと思っております。

一方、令和2年度の新しい業務である林野庁補助事業の「ドローンによる被害木探査事業」は、岩手県・青森県において、担当の方々が苦労しながら頑張って活動を進めていただいております。去る12月には業務報告書作成の検討委員会開催まで、しっかり進められております。来年度も、ドローン業務がさらなる発展をされますことを心から期待いたします。

また本会は昨年引き続き、来たる2月20日(土)に開催される「第7回高田松原再生講座」〔主催：NPO 法人高田松原を守る会、(一財) ベターリビング、(一財) 日本緑化センター〕の後援をさせていただいております。東日本大震災からまもなく10年が経つわけですが、今後とも会独自の立場から、近時の他地域との自然災害も含めいろいろな形で貢献して参りたいと考えております。

本会は一般社団法人として発足後ようやく4年目を迎えるところですが、役員・会員の皆様におかれましては、各方面で前向きな発展の努力がなされております。例えば、昨年6月の総会で提案された“オンライン会議”については、以後開催された数回の理事会や頻繁に開かれている“組織・運営体制見直し委員会”でも効率的に運用されており、毎回充実した討議や夜遅くまで活発な議論が行われております。心から感謝申し上げます。

新しい年を迎え、会員が一堂に会しての活動自体が困難な状況ですが、この災禍を機に上記のようなzoom会議等の新しい通信手段も非常な発展を遂げようとしています。それらの活用により、会員皆様の、さらに思い切った具体的な素晴らしいご提案をいただくことをお願い申し上げます、本会のさらなる発展を期待いたしまして令和3年の年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 【会員寄稿】

### ドローン撮影による松くい虫の被害木探査について】

山形県 松保護士第 562 号 山口真之介

ドローンとは、無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称です。近年ドローンという言葉が一般的になってきています。手ごろな価格で入手できる物も多いため所有されている人も多いかと思えます。

ドローンは空撮による写真や動画を撮ることはもちろんですが、その空撮した写真を活用して病虫害等の被害木調査をする手段もあります。

従来は目視による被害木調査であったり、有人ヘリによる空撮写真から被害木を見つけて写真を頼りに現地調査に行くようなやり方でした。

#### ◇山形県庄内海岸林

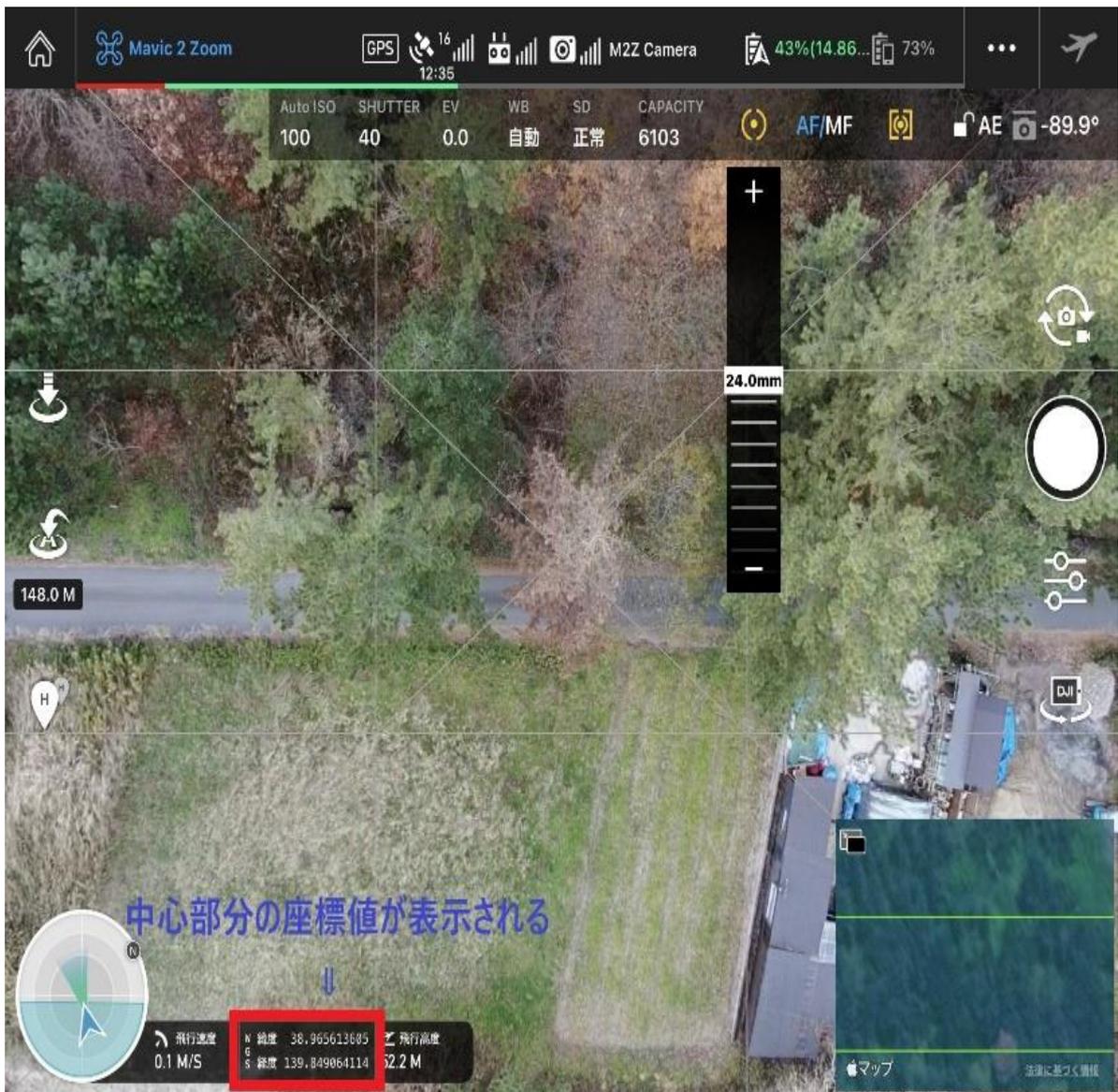


また、被害木を特定するためには、その被害木があるところの座標を入手する必要がありますが、そのために歩いて被害木の所まで行き、GPS を使い座標を入手するやり方が基本となっています。

しかしドローンを活用して撮影した画像は、特殊なソフトを使えば画像から座標を入手することも可能になり、撮影中は常に送信機の画面に座標が表示されています。これにより事前に被害木の座標を入手した状態で調査することが可能になります。先に座標を知ることによって目的地がわかり、行き方が特定されることがナビゲーションです。

#### ◇撮影中の送信機の画面

画面の中心の座標が画面左下に表示されます。



スマートフォンをお持ちの方は Google マップを開き、検索で座標を入力すると被害木までのルートナビしてくれます。誰でも無料で使えるマップですのでとても便利です。

取扱については



左) 北緯座標と東経座標を入力する。 右) 検索してナビゲーションする (徒歩で検索)。

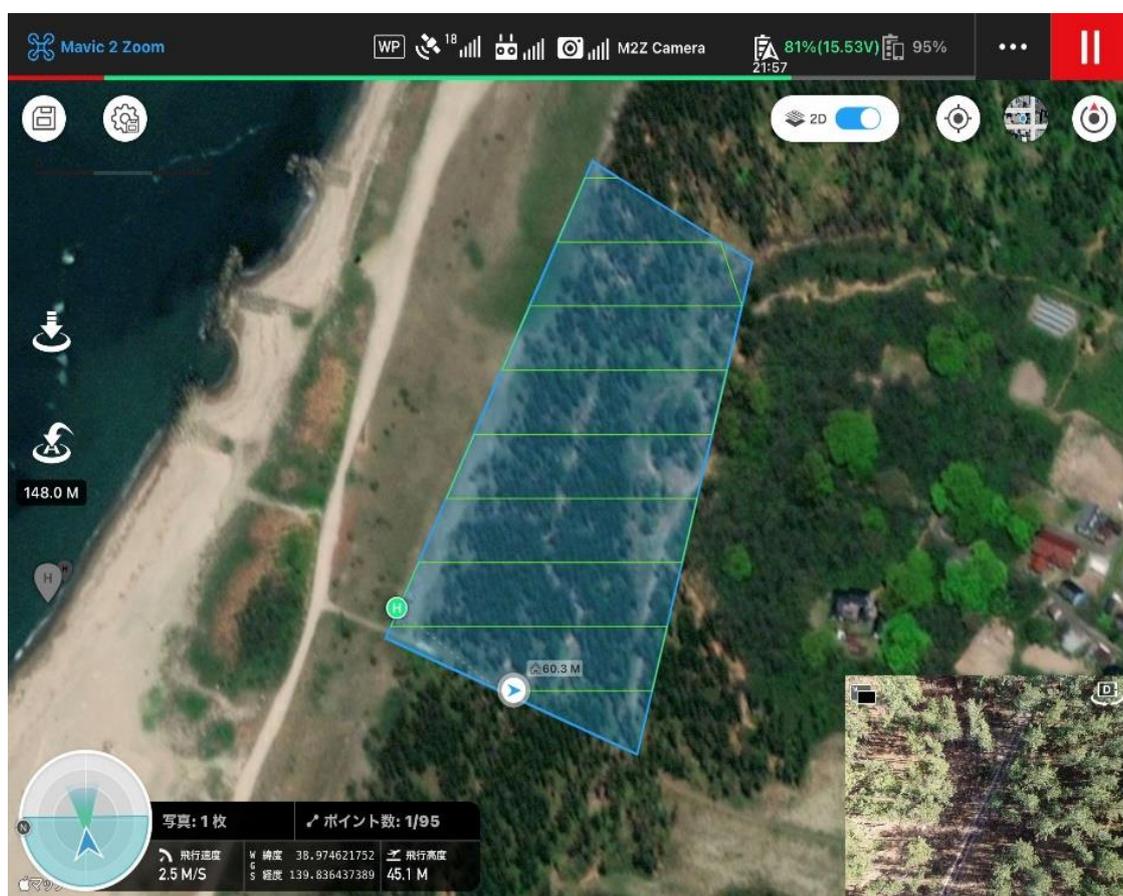
山林内等で被害木調査を行うと、よく迷ったりすることがあり、目的物を見つけるまでに非常に時間がかかったりしますが、あらかじめ座標が判ればナビゲーションにより近くまで案内してくれるため、時間短縮につながります。

注意点として重要なのは、ドローン画像からの座標は誤差が数メートル以上ずれる場合があります、明らかに被害木ではない（葉の色が一部変色した程度）のものを選ぶと、現地で周囲の健全木との違いがわからず、選定ミスを引き起こす可能性があるため特に注意が必要です。

見通しの良い場所や被害木が集中している場所等では、目視による調査の方が早い場合があるため、わざわざドローンで座標を指定する必要はありません。



◇実際の作業風景（筆者）



◇撮影範囲を指定して自動飛行にて空撮する。場所は庄内海岸林

◇下の映像はドローンカメラが撮っている。



#### ◇現地調査作業

場所によっては被害木に到達するまでひと苦労する所も・・・  
被害木の計測、GPS データを測定する。



#### 《まとめ》

ドローンによる被害木調査は場所によっては非常に役に立ちますが、そうでない場合もあります。しかし、ドローンを使用することで、低コストで空撮の作業が可能になるばかりでなく、被害調査資料としても価値のある物が作成できます。例えば、当年枯れを考慮した場合、松枯れの被害により変色する前の写真とその後の写真があれば、当年枯れの被害木を特定することが出来ます。今までは人力で多額の費用をかけて調査して、結局被害木を特定できずに、みすみすマツノマダラカミキリを脱出させてしまい、松枯を増やすことになってしまいうこともありました。この様なことができるだけ少なくなるように、ドローンの性能を生かしながら、良い調査を行って行きたいと思っています。

まだまだ勉強不足な私ですが、今後とも一つ一つ頑張っでドローンでの仕事とその可能性を追求していきたいと考えています。

( 山形県 松保護士 第12期 562号 山口 真之介 )

## 【会員寄稿】

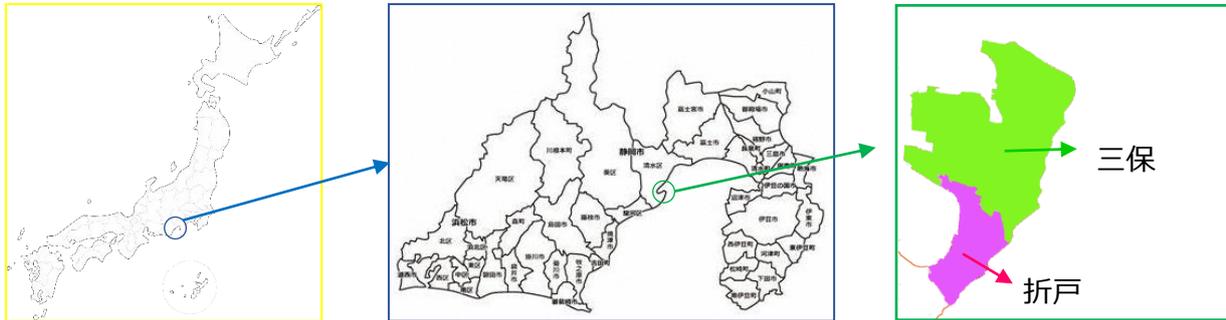
# 三保松原の文化と保全

令和2年12月16日 日本松保護士会交流学習会  
静岡市 観光交流文化局 文化財課  
三保松原文化創造センター 山田祐記子

### ○三保松原の基本情報

- ・三保半島は駿河湾に形成された「砂嘴」で、静岡県 静岡市 清水区に位置する。
- ・半島先端側は三保、付根（くびれ）側は折戸という地名になっている。
- ・三保の由来としては「御穂」「三穂」など諸説ある。
- ・折戸は家康が好んだ「折戸なす」の産地として知られている。
- ・現在は海沿いに約35haの松原があり、マツの本数は約3万本。
- ・国有林無し（国有地はあり）、県有林4ha、市有林8ha、松原の75%以上が民有地である。

1915（大正4）年：日本新三景として選定（他2つは北海道大沼と大分県耶馬溪）



1922（大正11）年：日本最初の名勝の一つとして指定（他に天橋立、兼六園など）

2013（平成25）年：世界文化遺産富士山の25の構成資産の一つとして登録

富士山は「芸術の源泉と信仰の対象」というキーワードで

「顕著な普遍的価値（OUV：outstanding universal value）」

を示すストーリーを作り、世界文化遺産となった。

- ・「芸術の源泉」としての三保松原

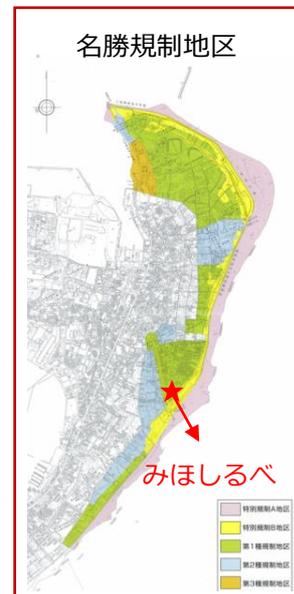
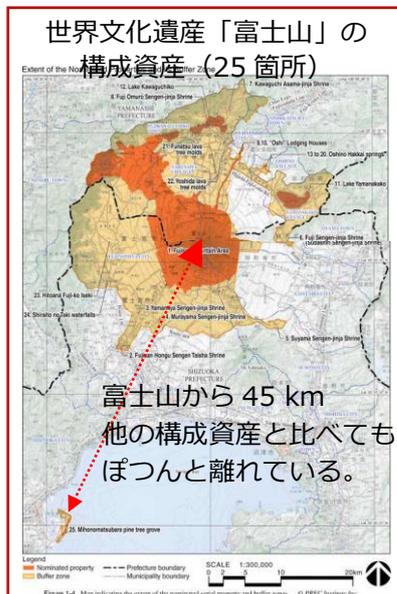
→数多くの芸術作品において富士山と共に描かれている。

- ・「信仰の対象」としての富士山の一部である三保松原

→「絹本著色富士曼荼羅図」（富士山本宮浅間大社蔵、

県立美術館で保管）が貴重な一例。

三保松原文化創造センターみほしるべでもレプリカを展示。



# ○静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」平成31年3月30日にオープン

## 1 要旨

三保松原の文化的価値を高める関連文化の創造を図るとともに、来館者に名勝及び世界遺産である三保松原の価値や魅力を発信、観光情報を提供し、松原の保全に係る普及啓発を図る。



## 2 経緯

平成26年度 (仮称)三保松原ビジターセンター  
基本構想の策定  
平成27年度 基本設計の策定  
平成28年度 展示設計の完了  
平成29年度 建築実施設計の完了、建築工事着工  
平成30年度 正式名称決定、愛称決定、建築工事完了、展示製作設置完了、開館

## 3 施設概要

施設構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建(高さ8m)、耐震壁付ラーメン構造  
施設規模 延床面積:1,143.73m<sup>2</sup>、建築面積:824.5m<sup>2</sup>、敷地面積:3,238.53m<sup>2</sup>  
敷地状況 用途区域:第1種低層住居専用地域 防火地域:なし 海拔:6.25m  
名勝:名勝三保松原第1種規制地区  
建物設計業者 株式会社アプルデザインワークショップ  
展示設計業者 株式会社トータルメディア開発研究所  
開館日時 年中無休、午前9時00分～午後4時30分  
入館料 無料  
管理形態 市直営  
施設整備費 約6.7億円(建築設計・工事:5億760万円、展示整備1億6,356万円)  
来館者 初年度:66万5千人 ※目標:21万人

## 4 業務概要

- ・三保松原の文化的価値を高める業務
- ・三保松原に関する価値の展示業務
- ・観光情報の発信業務
- ・三保松原に関する文化的・学術的調査・研究・教育業務

## 5 館内

### 1階

通り土間:飲食可能、展示物の設置可能な  
フリースペース

映像シアター:3面シアターでの三保松原  
の景観や文化の紹介

展示室:富士山信仰、羽衣伝説、三保松原  
の描かれた芸術作品など

観光案内ブース

ミュージアムショップ

授乳室

トイレ(24時間使用可能な観光トイレ)

足湯:松葉の入浴剤を利用(冬季休日のみ)



## 2階

### 松のミュージアム

#### パネル展示

- ①世界の人々の身近にある松
- ②マツという生き物
- ③マツ材線虫病対策
- ④松原を維持するために
- ⑤日本人と松
  - ・身近な松原 100 選
- ⑥三保松原の松
  - ・龍のマツ年輪年代解析

#### 標本展示

- ・三保の海浜植物、キノコ、昆虫
- ・世界のまつぼっくり  
(現在 30 種)
- ・マツの根付き土壌剥取標本
- ・マツノマダラカミキリ標本、後食痕、産卵痕、蛹室、脱出孔
- ・龍の松の切り株
- ・マツノマダラカミキリの生態展示  
(令和 2 年度 70 頭)

#### 体験展示

- ・光学顕微鏡での松葉や材の薄切片の観察
- ・シロアリ食害マツ等を使用した「松の楽器」  
(館内音楽にも使用)



#### 三保の郷土史

縄文～平成までの三保の出来事

#### 図書コーナー

富士山関連、郷土史関連、羽衣関連  
マツ関連→松の絵本、PINES (Brill 社)、最新樹木根系図説、グリーンエージ (2017～) など  
(雑誌を除いて約 250 冊)

#### テラス、屋上

松越しの富士山や海を眺めながら飲食できる。

## ○三保松原での「信仰の対象と芸術の源泉」ポイントとなる作品

### 奈良時代

万葉集巻3の296, 297が、三保に関する最古の記録（708年）とされる。奈良から上野に行く途中清見の崎～薩埵峠（当時の田子の浦）で作ったもの。

蘆原の 清見の崎の 三保の浦の ゆたけき見つつ 物思いもなし  
昼見れど 飽かぬ田子の浦 大君の 命畏み 夜見つるかも 田口益人大夫

### 平安時代

藤原定家、能因法師らが、宮中において三保の風景を想像して歌を詠んだ。

**秦致貞「聖徳太子絵伝」** 富士山が描かれた、現存する最古の絵とされる。

### 鎌倉時代

後鳥羽院、藤原家隆らが、宮中において三保の風景を想像して多くの歌を詠んだ。

**円伊「一遍聖絵」** 三保松原が描かれた、現存する最古の絵とされる。

### 南北朝時代

兼好法師、西行らが実際に東西を行き来して、駿河通過時に詠んだ。

### 能「羽衣」の誕生

駿河の三保が舞台だが、駿河風土記の羽衣伝説とはストーリーが異なる。風土記は8世紀に編纂されたと言われるが、駿河国風土記の記録が初めて登場するのは江戸時代。

室町時代初頭、世阿弥により作られたとかつては考えられていたが、その後の研究で世阿弥の作ではないと判断されている。

能楽を大成した観阿弥、世阿弥親子は今川氏の招きに応じ1384年に駿河を訪問、5月4日に浅間神社で演能。観阿弥は5月19日（6月8日）、死去。同じ日に今川家初代当主今川範国も死去。観阿弥は今川氏に暗殺されたとする説もある。そのとき世阿弥は三保松原を訪れたのでは？！

・人気の秘密は？→耳馴染みのある和歌が、作品中にちりばめられている。

風早の 三保の浦みを 漕ぐ舟の 舟人騒ぐ 波立つらしも (万葉集)

天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも (安倍仲磨 古今集)

春霞 たなびきにけり 久方の 月の桂の 花や咲くらん (紀貫之 後撰集)

天つ風 雲のかよひ路 吹きとぢよ 少女の姿 しばし留めん (僧正遍昭 古今集)

### 室町時代

駿河の今川義元を訪ね、山科言継が都からやってきて、半年滞在した際の日記が、名所としての羽衣の松を訪れた、判明している最古の記録（1557年）とされる。

いつまでの 見るめもあかし 浦波に 釣するあまの 羽衣の松 山科言継

**狩野元信(?)「絹本著色富士曼荼羅図」** 富士山信仰における三保松原の重要性を示す曼荼羅図。今川義元の依頼により描かれたとの説がある。

**伝 雪舟「富士三保清見寺図」** 富士と三保と清見寺の定型の構図を雪舟が考案。後世に伝わり多くの

画家が模写し、また同じ構図での富士三保清見寺図も描かれた。

#### 安土桃山～戦国時代

武田信玄、豊臣秀吉ら武将が三保を詠んだ。

#### 江戸時代

狩野山雪、狩野探幽、曾我蕭白、円山応挙、司馬江漢、原在中ら画家、歌川豊国、歌川広重ら浮世絵師が三保を描いた（※北斎は三保松原を主題としては描いていないが、東海道五十三次「興津」や富嶽三十六景「東海道江尻田子の浦略図」の遠景は三保であるとの説がある）

#### 明治以降

和田英作、五姓田義松、岡田紅陽、横山大観、木村武山ら画家が三保を描いた（撮影した）。  
与謝野晶子、吉井勇、北原白秋、高山樗牛、宮沢賢治らが三保に関するエピソードを残した。  
フランスの舞踏家エレーヌ・ジュグラリスが能「羽衣」を独学で学び上演（1949年）  
三島由紀夫「豊饒の海第4巻 天人五衰」（1971年）  
東儀謙太郎、東儀秀樹による羽衣の舞の復活（1974年）  
第1回 羽衣薪能を開催（1984年）

### ○第1期（2014年～2018年）静岡市三保松原全事業総括書 抜粋

マツ材線虫防除事業では、薬剤散布及び環境影響調査、伐倒駆除、予防剤注入を行った。

その他の事業では、土壌改良、ワイヤーロープがけ、枝降し、間伐、草刈り等の環境改善事業、名勝地の所有者調査、市有林の測量調査や計画策定等の基礎調査、空洞調査を実施した。施設整備事業では、名勝三保松原の魅力を伝える施設の基本構想、基本設計、施工を実施し、平成30年度に開館した。また、野外観察施設として羽衣の松周辺へのボードウォークの設置を計画・検討した。

	2014	2015	2016	2017	2018
マツ材線虫病防除	23,511,548	20,808,700	20,624,629	22,685,289	26,274,487
伐倒駆除	11,116,764	6,248,140	5,204,389	2,597,289	6,456,487
薬剤散布	3,155,384	6,015,600	6,210,000	6,480,000	7,398,000
環境影響調査	0	3,024,000	2,700,000	1,944,000	1,458,000
樹幹注入	9,239,400	5,520,960	6,510,240	11,664,000	10,962,000
その他	37,314,000	63,959,000	44,960,800	49,623,840	641,023,031
調査、環境改善等	37,314,000	33,874,000	16,264,800	49,623,840	40,949,111
施設整備	0	30,085,000	28,696,000	0	600,073,920
合計	60,825,548	84,767,700	57,969,269	54,746,169	633,112,447
文化庁補助額	26,295,000	21,545,000	34,442,000	34,493,000	223,727,000

（静岡県 松保護士 第15期 山田祐記子）



令和3年1月15日

会 員 各 位

一般社団法人日本松保護士会  
選挙管理委員会  
委員長 沖濱 宗彦  
(公印省略)

一般社団法人日本松保護士会役員選挙についてのお願い

コロナウイルス禍のなか、ご健勝にてお過ごしでしょうか。

さて、日本松保護士会役員選出規程により、役員選出選挙に関してのお願いがございます。2018年12月役員選挙結果に基づき、2019年5月に埼玉県で開催された日本松保護士会総会において、当選された会長(岩瀬氏)、副会長(増田氏)2名の退任発言により総会が紛糾し、理事内調整の結果、理事12名体制での総会承認を得ました。

また、2020年6月総会はコロナ禍により、理事および少数の会員参加で青森県八戸市開催により理事定数解消が出来ず、12名で今日まで継続しております。

今回、2021年役員選挙において定数是正を図る事とし、収支改善のため日本松保護士会発足当初の理事定数8名に戻したいと考えます。選挙方法につきましては従来と変わらず、投票用はがきに5名の氏名を記入し選挙管理委員長あてにお送り頂きたいと思っております。日程と致しましては、2月初旬に投票用はがきを郵送配布し、3月末投票締切、4月上旬開票(選挙管理委員5名確認)の予定となっております。自薦他薦にて役員候補者を選出していただきたくお願い致します。

以 上

(一社) 日本松保護士会役員等名簿

役 職	氏 名	役 割 担 当	備 考
代表理事・会長	岩瀬森の助	総 括	組織・財政等
理 事・副会長	五十嵐光雄	副総括及び 研修部長	(兼) 広報部員
理 事・副会長	東 條 一 幸	副総括及び 事業部長	(兼) 技術部員
理 事	沖 瀆 宗 彦	技術部長	(兼) 事業部員
”	佐 藤 榮	事業部員	(兼) 技術部員
”	荻原東茂蔵	技術部員	(兼) 研修部員
理事(兼)事務局長	増 田 信 之	事務局担当	
理 事	川 窪 康 弘	研修部員	(兼) 技術部員
”	坂 口 修 一	広報部長	(兼) 研修部員
”	山口真之介	広報部員	(兼) 技術部員
監 事	田 中 正 美	—	(兼) 技術部員
監 事	古 川 元 一	—	(兼) 事業部員
事務局員	関屋美智代	庶務担当	—

・ 顧問 川西 茂 (滋賀県) ・ 顧問 菊地 直人 (山形県)

◎ 部員の委嘱について (理事会より推薦)

広報部員・・・・・・土居 常隆 (大阪府) 会長より委嘱

事業部員・・・・・・斎藤 次男 (埼玉県) 会長より委嘱

技術部員・・・・・・森田十三蔵 (埼玉県) 会長より委嘱

研修部員・・・・・・岡 宏明 (香川県) 会長より委嘱

## 【現在の会員の状況】

当会の令和3年1月15日現在の会員数は254名です。

なお、“令和2年4月1日現在会員名簿”発行後の異動については下記のとおりです。  
ご確認よろしくお願いいたします。

### 新規入会者名簿

(敬称略)

番号	入会日	登録番号	都道府県	氏名	ふりがな
1	5月27日	賛助会員	埼玉県	関口 博子	せきぐち ひろこ
2	8月21日	09-433	神奈川県	加藤 東	かとう あずま
3	8月28日	17-771	北海道	坂本 俊隆	さかもと としたか
4	8月30日	17-780	奈良県	丸山 国隆	まるやま くにたか
5	9月3日	16-727	福岡県	小野 正幸	おの まさゆき
6	9月24日	02-109	山口県	井上 雄治	いのうえ ゆうじ
7	12月25日	賛助会員	神奈川県	小島 久典	こじま ひさのり
8	1月19日	16-734	富山県	光地 正広	こうち まさひろ

### 退会者名簿

(敬称略)

番号	退会日	登録番号	都道府県	氏名	ふりがな
1	4月14日	03-181	神奈川県	内藤 研二	ないとう けんじ
2	4月16日	03-184	宮崎県	奈須 孝男	なす たかお
3	4月27日	15-676	青森県	鹿糠 駿平	かぬか しゅんぺい
4	5月22日	01-085	奈良県	前 吉訓	まえ よしのり
5	5月30日	04-204	神奈川県	石澤 芳子	いしざわ よしこ
6	7月2日	10-460	東京都	興津 真行	おきつ まさゆき
7	7月5日	07-367	兵庫県	竹見 一洋	たけみ かずひろ
8	7月6日	16-723	青森県	太田 晶子	おおた しょうこ
9	7月6日	01-016	青森県	黒瀧 晴彦	くろたき はるひこ
10	7月6日	16-740	青森県	俵谷 庸美	たわらや やすみ
11	7月6日	02-152	青森県	山本 貴一	やまもと たかかず
12	7月6日	08-388	宮城県	太田 成一	おおた せいいち
13	11月16日	02-145	奈良県	橋本 弘大	はしもと ひろお
14	12月11日	02-137	熊本県	鳥羽瀬 正志	とばせ まさし

※令和2年4月1日現在会員名簿での訂正のお願い

P44の岩熊直樹様のお名前に誤りがありました。ここに訂正しお詫び申し上げます。

(誤) 岩隈直樹 → (正) 岩熊直樹

## 【広報部および事務局からのお知らせ】

- ① 今号ではお二人の方から寄稿文をいただきました。一昨年の川越総会の折りに講演いただいた山田様からは「三保松原の文化と保全」について、山形県の山口様からは、今年度林野庁から受注しました「ドローンによる被害木の探査事業」に関連しての寄稿です。
- ② 当広報誌にてCM欄を設けています。また、今後は当法人の出版物等にもCMを掲載する予定です。CMに協賛頂ける企業、法人様、会員を募集します。掲載料はA4紙面の四分の一サイズのA4 1P区画（フルカラー）が2,500円です。皆様、よろしくお願い致します。次回広報誌での掲載希望者は事務局までお問い合わせください。
- ③ 先日、「松枯れ対策シンポジウムのご案内」として、一般財団法人日本緑化センター様からのご案内を、皆様にメール・FAX・郵送いずれかでお送りさせていただきました。今後も、情報を発信する手立てとして出来るだけメールにてお届けしたいと考えております。現在ご登録いただいておりますメールアドレス、FAX番号に変更がありましたら、お手数ですが事務局までご連絡いただきますよう、よろしくお願い致します。未登録の方がいらっしゃいましたら、この機会にご登録いただけると幸いです。
- ④ **会員名簿記載事項の変更について**  
記載事項変更届に記入の上、事務局までご提出下さい（fax、メール等をお願い致します。様式はHPにあります。）
- ⑤ 会員の募集と新規勧誘について  
もっと仲間を増やしましょう。未加入のお知り合いの松保護士の方の入会をお勧めください。また、賛助会員様についても、企業、団体様の加入をお待ちしています。
- ⑥ **農薬等の販売について**  
農薬等のご注文も承っています。低価格で提供させていただきます。（HPを参考に、会員価格は事務局までご相談ください。）ご希望の薬剤の見積をさせていただきますので気軽に電話、FAX、メールをください。  
この時期、樹幹注入剤の注文や、春からの地上防除の薬剤の注文が増えてきています。
- ⑦ **ヘルメットの販売について**  
（一社）日本松保護士会のヘルメットです。在庫が若干ございます。  
1個4,000円（税込み・送料は着払い）です。FAX、メールでお申し込みください。



- ⑧ 会員の皆様からのご意見・寄稿・ご注文をお待ちしています。どしどしお寄せください。  
《事務局等連絡先》

・事務局長 増田 信之

Tel. 0748-69-5861、FAX. 0748-69-5862 【メール：matsuhogo@iaa.itkeeper.ne.jp】

・広報部長 坂口 修一 Tel. 090-3727-3290 【メール：[info@niwasou.jp](mailto:info@niwasou.jp)】